

計画の名称	宮古市における良好な水環境の実現 (防災・安全)									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	宮古市							
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道による雨水整備率を17.7% (H22) から20.8% (H26) に増加させる。 ②処理場及びポンプ場の改築実施率を26.9% (H22) から53.8% (H26) に増加させる。 ③閉伊川水管橋の改築実施率を0% (H22) から50% (H26) に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考				
			当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
① 下水道による雨水整備率 浸水対策完了済み面積 (ha) / H21末下水道認可区域面積 (ha)			17.7%	20.8%	20.8%					
② 処理場及びポンプ場の改築実施率 改築実施済み設備 (箇所) / 改築必要設備数 (箇所)			26.9%	44.2%	53.8%					
③ 閉伊川水管橋の改築実施率 改築工事実施数 / 全改築工事数			0.0%	16.7%	50.0%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,293百万円 1,271百万円	A	1,293百万円 1,271百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% 0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮古市上下水道部内で実施	平成28年3月 公表の方法 市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
6-A1-1-2	下水道	過疎	宮古市	直接	-	ポンプ場	改築	宮古中継ポンプ場改築 (地震対策)	監視装置、自動除塵機、継電気盤更新 監視装置、自動除塵機、継電気盤更新	宮古市						164 164	
6-A1-1-4	下水道	過疎	宮古市	直接	-	処理場	改築	宮古浄化センター改築 (水質保全)	反応タンク、水処理電気 反応タンク、水処理電気	宮古市						529 530	
6-A1-1-5	下水道	過疎	宮古市	直接	-	処理場	改築	宮古浄化センター改築 (資源循環形成)	汚水脱水機、脱臭装置 汚水脱水機、脱臭装置	宮古市						347 347	
6-A1-1-6	下水道	過疎	宮古市	直接	-	処理場	改築	宮古浄化センター改築 (水質保全、資源循環形成)	長寿命化計画策定 長寿命化計画策定	宮古市						15 7	
6-A1-1-7	下水道	過疎	宮古市	直接	-	分流雨水	改築	雨水排水路整備 (浸水対策)	保久田地区排水路 保久田地区排水路	宮古市						89 89	
6-A1-1-8	下水道	過疎	宮古市	直接	-	分流雨水	改築	雨水ポンプ場整備 (浸水対策)	千徳雨水ポンプ場委託 千徳雨水ポンプ場委託	宮古市						33 23	
6-A1-1-10	下水道	過疎	宮古市	直接	-	分流汚水	改築	閉伊川水管橋改築 (地震対策)	水管橋落橋防止、橋脚補強 水管橋落橋防止、橋脚補強	宮古市						57 50	
6-A1-1-11	下水道	過疎	宮古市	直接	-	分流汚水	改築	宮古地区管渠調査 (地震対策)	長寿命化計画策定 長寿命化計画策定	宮古市						59 61	
											合計	1,293 1,271					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			

合計																
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古浄化センター及び宮古中継ポンプ場の機械・電気設備を更新することで、市民への安定した下水道サービスが提供できた。 ・雨水排水路を整備することで、市民への安心・安全を提供できた。 									
--------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①下水道による雨水整備率	最終目標値	130.2	20.8%	626.1	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことができた。
		最終実績値	130.2	20.8%	626.1		
	指標②処理場及びポンプ場の改築実施率	最終目標値	14	53.8%	26	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことができた。
		最終実績値	14	63.6%	22		
	指標③閉伊川水管橋の改築実施率	最終目標値	3	50.0%	6	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことができた。
		最終実績値	3	50.0%	6		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き宮古浄化センター、中継ポンプ場の機能維持が図られるよう機器更新を行う。 ・既存施設の耐震化や長寿命化を策定し機能維持が図られるよう維持管理を行う。 										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--